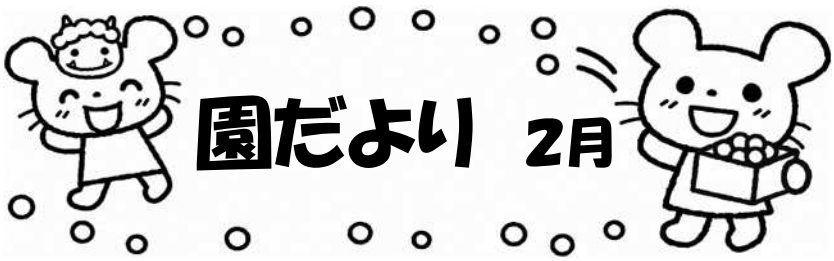
教育目標　すくすく　ぐんぐん　にこにこ



令和５年１月３１日
第５３８号
北区立じゅうじょうなかはら幼稚園

園長　髙沢　ゆみか

生活の中で重ねてきたもの

先日、年長さくら組の生活発表会を行いました。昨年度の生活発表会は、保護者の皆様にはオンラインで子どもたちの表現活動をご覧いただきました。今年度は直接会場でご覧いただくことができたことを、ありがたく、そして感慨深く感じています。子どもたちも、大好きなおうちの方が間近で見てくださったことは、とてもうれしく励みになったことと思います。ご参観いただき誠にありがとうございました。

さくら組は、今回の生活発表会で『エルマーのぼうけん』の劇に取り組みました。学級のみんなが大好きな物語です。子どもたちは、劇中の台詞や動き、衣装も自分たちで考え、日を重ねるごとにもっと楽しく、より良くなるように手を加えたり、アイデアを出し合い変化させたりしながら取り組んできました。当日を迎えるまでには数々のドラマがあったのですが、中でもとても印象深いエピソードがあります。実は、発表会の数日前にリハーサルとして年少ちゅうりっぷ組に見てもらった日に、ちょっとしたハプニングから、やりとりのタイミングがいつもと違ってしまった場面がありました。すると、子どもたちはその場の状況に合わせて考えた台詞をアドリブで繰り出し、場を繋ぎながら劇を続けたのです。日頃から自分たちで考えて、伸び伸びと主体的に取り組んでいたからこそ出てきた姿だと、私は感心しました。「生活発表会」までの“生活”の中で積み重ねてきたのは、一人一人が個性を発揮しながら主体的に取り組む楽しさと自信・互いのよさや頑張りを感じ、認め合うことで生まれる学級の絆・間違いや失敗などがあってもやり直したり修正したりしながら乗り越えようとする気持ちなどです。心や絆は目には見えないものですが、子どもたちの姿を通してそれがしっかりと伝わってきました。そしてこれらが、小学校以降の自分自身を支える力になると信じています。

さくら組の楽しい劇を見たちゅうりっぷ組の子どもたちからは、早速、今度は自分たちが学級で楽しんでいる劇遊びをさくら組に見てもらいたい、という声があがっています。ちゅうりっぷ組も、今、学級でお話ごっこを楽しんでおり、それぞれが登場人物になりきって自分なりに動く姿に一人一人の個性が感じられます。そして担任は、一人一人の好きなことや興味関心を捉え、動きや設定に取り入れながら、子どもたちが主体的に楽しんで取り組めるように工夫をしています。ちゅうりっぷ組の生活発表会も、きっと子どもたちの大好きなことがたくさん詰まった“生活”の姿が見られることでしょう。

「逃げる」と言われるほど短く感じられる２月、今年度子どもたちが登園するのもあと３０日ほどです。“生活”の中で子どもたちが大切な学びを重ねられるよう、一日一日を丁寧に過ごしてまいります。

今月の指導のねらい

＜ちゅうりっぷ組＞

- 学級の友達と一緒に劇遊びに取り組み、その中で伸び伸びと自分を表すことを楽しむ。
- 友達との遊びの中で、やり取りをしながら関わる楽しさを感じ、相手の思いに気持ちを向けていく。

＜さくら組＞

- 自分なりの目的に向かって工夫したり、最後まで取り組んだりして、達成感や満足感を味わう。
- 友達と関わる中で、互いの思いや考えを受け入れ合い、友達とのつながりを深めていく。